

## 隊友会員と現職隊員ご家族による「サツマイモ収穫祭」

東播支部（支部長 石田真一）は、令和6年11月9日（土）会員及び会員家族29名、現職隊員及び家族41名（12家族）、総勢70名による「サツマイモ収穫祭」を行いました。例年は10月中旬から下旬に行っていましたが、今年は10月に方面隊が計画する北海道転地訓練に青野原駐屯地の隊員が参加しており、収穫祭を11月に延期しての開催となりました。

会場は兵庫県加東市滝野の滝野体育センター前の休耕田で、春より会員が畝の整備、イノシシ除けの柵の作成や苗の植え付け等丹精込めて管理を行ってきました。土壌も近傍に居住されている石田支部長、池田副支部長、鈴木理事役が主に手を入れ、少しずつ休耕田の土壌が改良されてきました。今年は特に鹿が芋ヅルを食べるので対策に苦慮しました。また、少雨により数回水やりも行いました。近年の異常気象や鹿やイノシシが増え食害に対する対策は非常に大切なものとなっています。

収穫祭開催前の準備風景



支部長挨拶



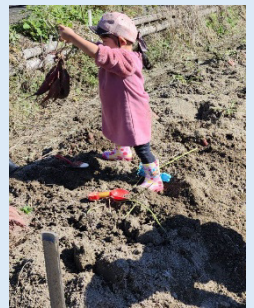
収穫芋の事前確認（大成功）



さつま芋掘り要領の展示説明風景



## さつま芋の収穫に夢中になる隊員家族の皆様（豊作だよー）



参加した子供たちは、表面に出たツルを引っ張ったりしてワイワイガヤガヤ家族の会話も弾みとても賑やかでした。そして、収穫した大きなサツマイモに満面の笑顔で楽しんでいただけましたようです。各組に30%の袋を渡し、それぞれ2/3以上のサツマイモを入れて、袋が破けそうな状態で持ち帰っていただくことができました。また、石田支部長、鈴木理事役が作った里芋は気候のせいで大きく育たなかったのですが、とても評判がよく欲しい方に持って帰っていただきました。

参加された現職隊員ご家族の皆様に対して、隊友会員と交流できる唯一の行事であり、これからも積極的に隊友会という組織を理解して頂けるようお願いをして解散となりました。

今年は兵庫県隊友会も家族支援協定を結び、今後は災害発生の際に家族支援業務の活動が始まります。今回の様に、東播支部が現職隊員家族と交流行事を行うことにより、相互の信頼関係の下、更に業務遂行がより円滑になることと考えています。



参加者による集合写真